

東京学芸大学大学史資料室常設展示

Gakugei
Album
2023
Autumn

師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム



- 写真上：「野尻先生の教生指導（附属に於て）」（1914年）「昭和44年撮影 創立20年誌写真資料」（1969年）
- 写真下：「青山師範学校 寄宿舎・寮祭」（1937年）「卒業記念写真帖」（1937年12月）

師範学校における学びと生活

【会期】2023年10月16日(月)～12月22日(金)

〔特別展示〕11月1日(水)～11月15日(水)

【時間】〔平日〕10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 [電話] 042-329-7277

【メールアドレス】shiryou@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学
大学史資料室
Office of Tokyo Gakugei Univ. Archives



大学史資料室常設展示によせて

東京学芸大学大学史資料室は、2021年度より図書館3階に事務室と閲覧室を開設して、常設展示を行っています。これは、東京学芸大学大学史資料室が設立から10年を経るなかで、大学史資料室の機能を一層高めるために取り組むものです。

大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことと重なります。その意味で、常設展示の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は非常に大きいといえます。

常設展示は、年間テーマを設定し、1年間を4～6月、7～9月、10～12月の三期に分けて展示内容を換えていきます。そしてこれを2年サイクルで回し、1年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

今年度全体のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」ですが、第三期は10月16日から展示を開始し、今期のタイトルは「師範学校における学びと生活」です。この展示では、師範学校時代において、どのような学び・教育が行われ、師範学校に集う生徒たちはどのような生活を送っていたのかを、大学史資料室に所蔵されている当時の授業風景や課外活動、寄宿舎生活についての資料を用いて読み解きます。展示資料は、1920年代の師範学校生の教育実習に関する資料（『教授案』や『実習録』）、生徒たちの手による修学旅行の旅行記、師範学校の授業や教育実習、寄宿舎での生活の様子を捉えた写真など、多岐に亘ります。また、11月1日から15日にかけての期間には、特別展示として師範学校時代の学生服や学帽、柔道着などのモノ資料の展示を行います。

今年、東京学芸大学は、1873年に東京府小学教則講習所として設立されてから150年目の「創基150周年」を迎えます。

今期の展示は、この創基150周年を振り返ることにもつながります。私たちは、過去から未来へと、小さくとも確実な歩みを進めています。ぜひとも、本学学生、卒業生、教職員、そして関係者のみなさんには、常設展示に映し出される東京学芸大学の歴史とそこで学んできた学生の姿に思いをはせて頂ければと存じます。

2023年10月16日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

川手 圭一

Gakugei
Album
2023
Summer

学
藝
ア
ル
バ
ム
師範学校の歴史をふり返る

